

御所市 男女共同参画に関する市民意識調査結果 概要版

■調査概要

○調査時期：令和6年1月15日（月）～令和6年2月6日（火）
○調査方法：郵送による配布、郵送とWEBでの回収（無記名）
○調査対象：令和5年11月1日の住民基本台帳より、無作為に抽出した18歳以上の住民800人(有効配布数:798件)
○回答状況：353人（44.2%）
・内 訳：郵送での回答者（265人 75.1%）
WEBでの回答者（88人 24.9%）

■回答者属性（※無回答を除く）

○性別：男性(34.6%)、女性(62.0%)、答えない(2.5%)
○年齢：18～19歳(1.4%)、20～29歳(5.7%)、30～39歳(7.4%)、40～49歳(9.9%)、50～59歳(15.6%)、60～69歳(20.1%)、70～79歳(26.3%)、80歳以上(13.0%)
○同居家族：ひとり暮らし(同居の家族はいない)(18.7%)、夫婦だけ(31.7%)、2世代世帯(親と子ども)(35.7%)、3世代世帯(親と子どもと孫)(7.9%)、その他(5.1%)
○配偶者：結婚している（事実婚を含む）(63.5%)、結婚していない(18.1%)、結婚していたことがある（死別、離別）(17.6%)
○職業：回答者 無職(26.6%)、正規の社員・職員(17.8%)、パート・アルバイト等非正規社員(17.0%)、専業主婦（夫）(11.0%)、自営業・家族従業(10.5%)
（上位5項目） 配偶者 無職(29.4%)、正規の社員・職員(23.0%)、パート・アルバイト等非正規社員(13.2%)、自営業・家族従業(11.9%)、専業主婦（夫）(8.1%)
※留意点：本資料のグラフの数値は、全て%表示です。小数点以下第2位を四捨五入しており、比率の合計が100.0%にならないことがあります。
単数回答の設問はS A、複数回答はMA、記入回答はF Aと表記しています。「n」は、各設問の母数を示しています。

◆家庭生活について

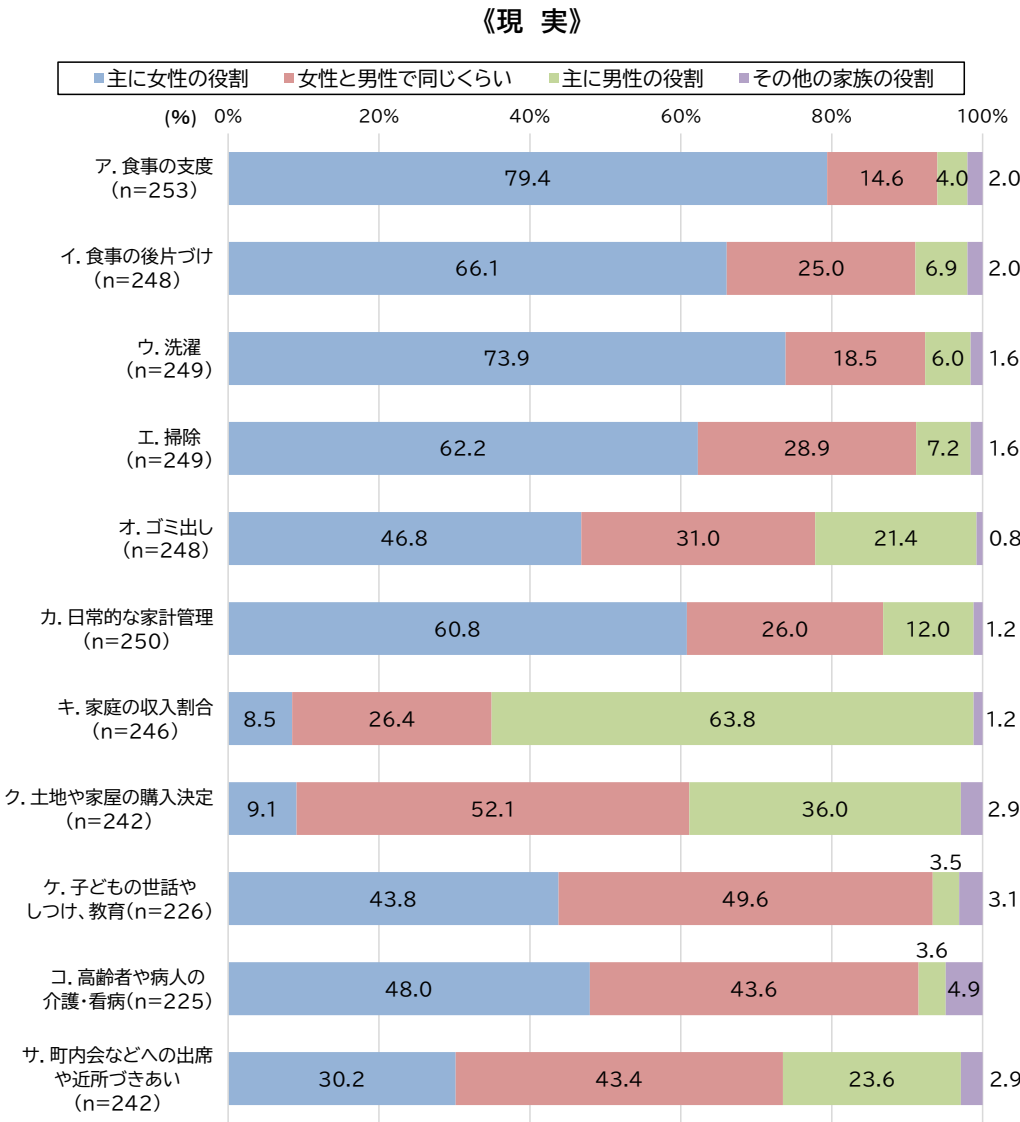
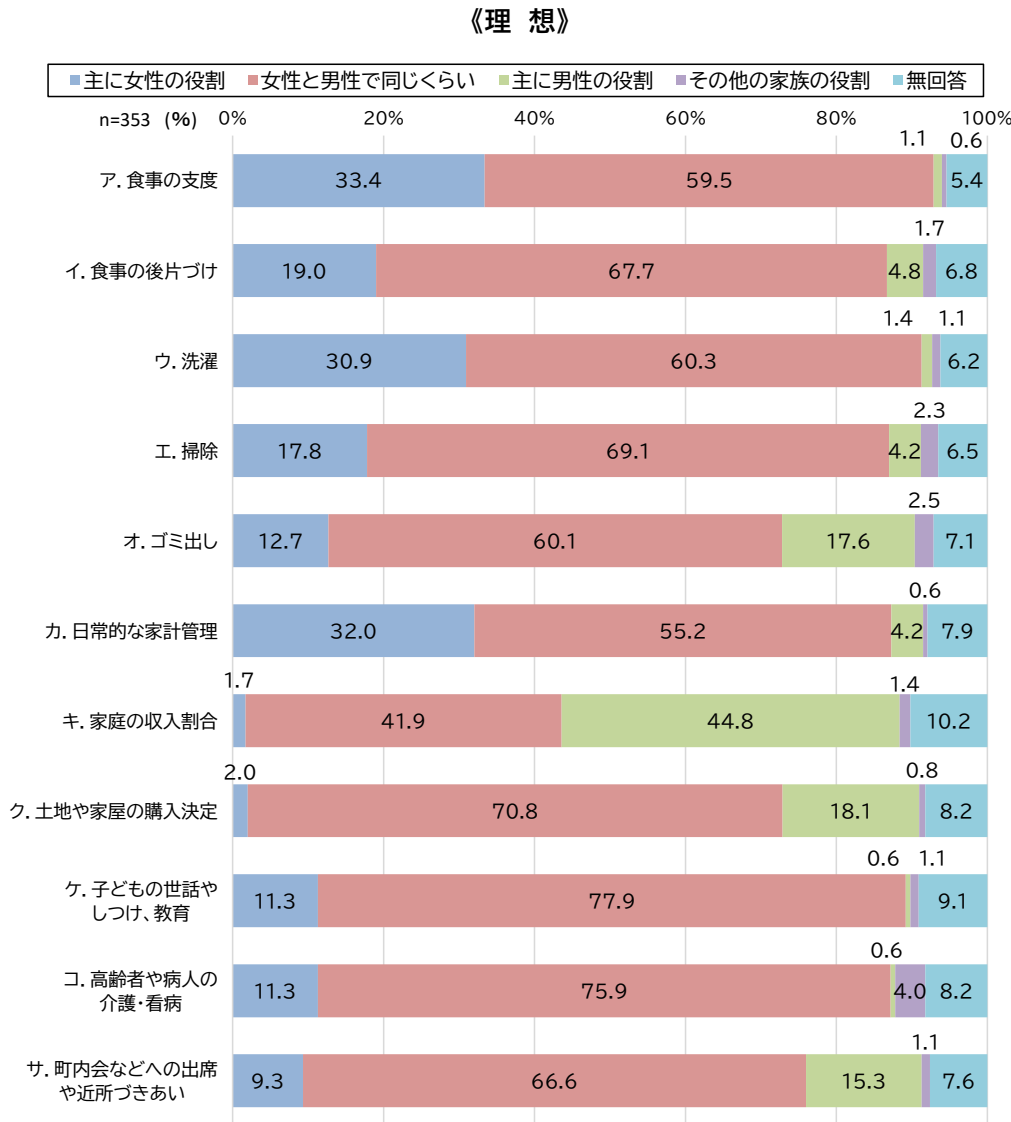
問1 次のア～サの家庭の中での仕事は、夫婦のどちらがするのが理想だと思いますか。また、配偶者・パートナーのいる方は、現実にはどのようにしていますか。（SA）

■《理想》では、『女性と男性で同じくらい』と回答している項目が、「キ. 家庭の収入割合」以外の項目で約6割～7割以上となっています。

■「キ. 家庭の収入割合」は『主に男性の役割』という回答が4割以上になっています。

■《現実》では、『主に女性の役割』と回答している項目が、「ア. 食事の支度」、「ウ. 洗濯」では7割以上となっています。

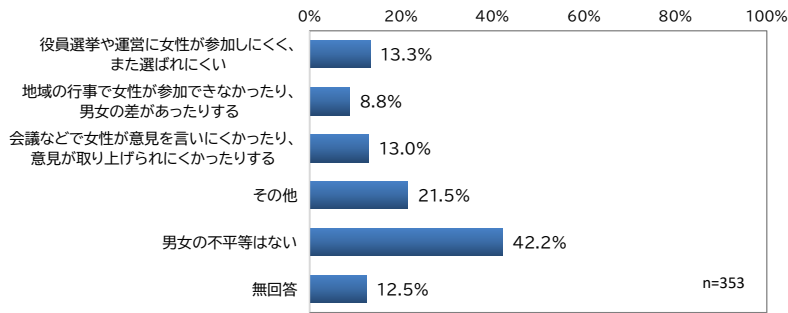
■「キ. 家庭の収入割合」では、『主に男性の役割』という回答が6割以上になっています。



◆地域活動について

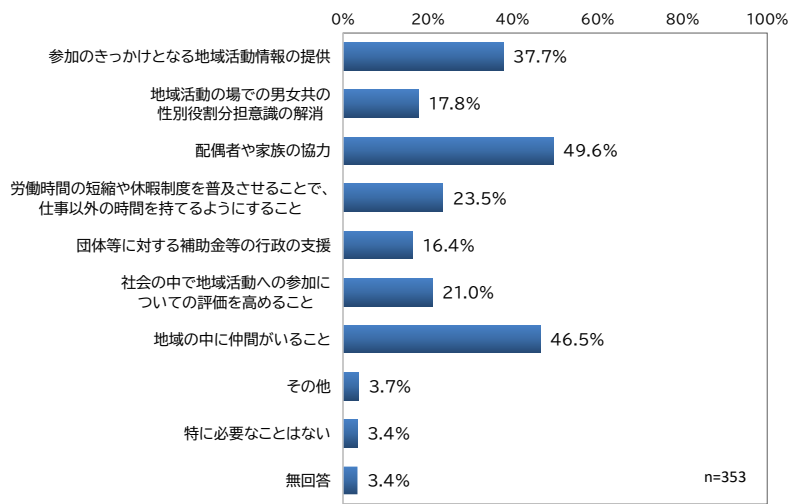
問2 あなたが住んでいる地域の活動や行事等に、男女の不平等はありますか。（MA）

■「男女の不平等はない」の割合が42.2%、「その他」の割合が21.5%、「役員選挙や運営に女性が参加しにくく、また選ばれにくい」の割合が13.3%となっています。



問3 男性と女性がともに地域の活動や行事等に積極的に参加するためには、あなたは、どのようなことが必要だと思いますか。（MA）

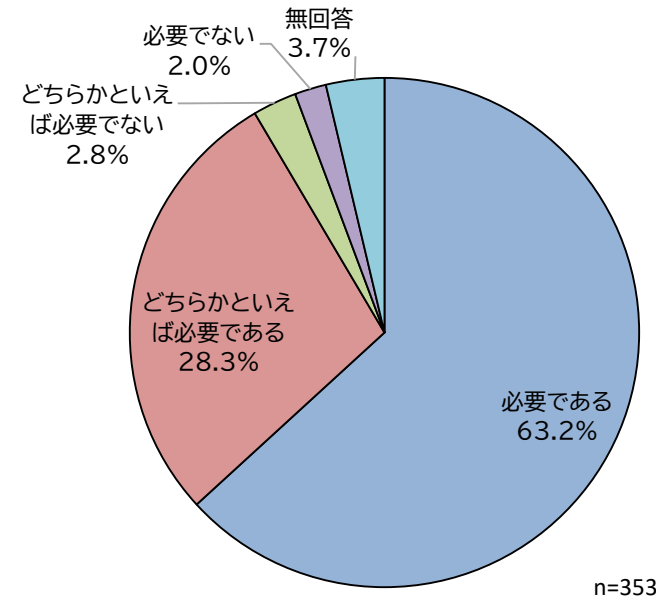
■「配偶者や家族の協力」の割合が49.6%と最も高く、次いで「地域の中に仲間がいること」の割合が46.5%、「参加のきっかけとなる地域活動情報の提供」の割合が37.7%となっています。



◆ 地域活動について (つづき)

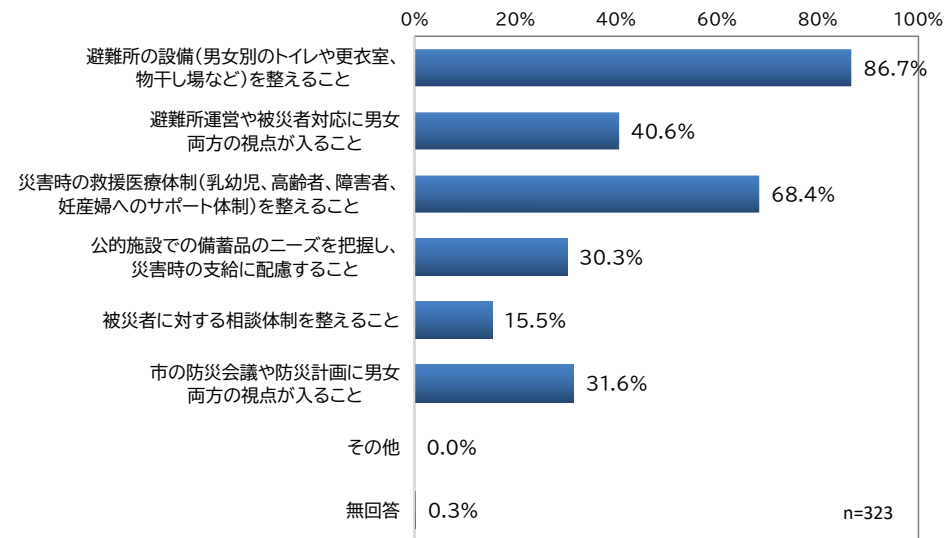
問4 あなたは防災・災害復興対策において、性別に配慮した対応が必要だと思いますか。(SA)

■「必要である」の割合が63.2%、「どちらかといえば必要である」の割合が28.3%となっています。



問5 防災・災害復興対策において、性別に配慮したどのような対応が必要だと思いますか。(MA)

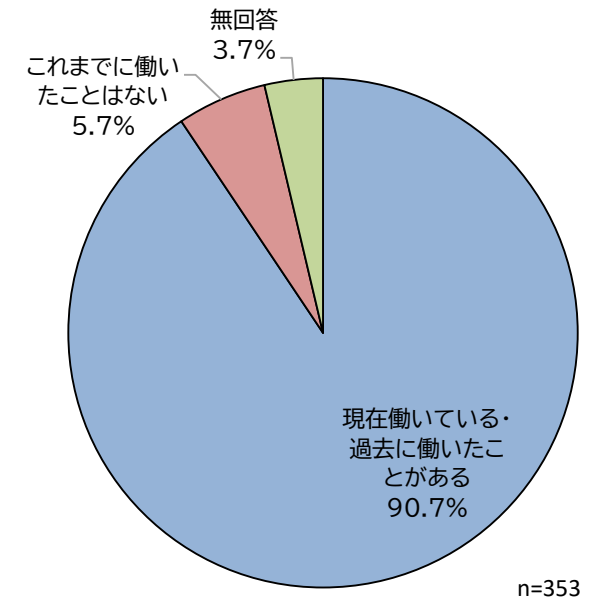
■「避難所の設備(男女別のトイレや更衣室、物干し場など)を整えること」の割合が86.7%と最も高く、次いで「災害時の救援医療体制(乳幼児、高齢者、障害者、妊産婦へのサポート体制)を整えること」の割合が68.4%、「避難所運営や被災者対応に男女両方の視点が入ること」の割合が40.6%となっています。



◆ 職業生活について

問6 あなたは、現在働いていますか。または、過去に働いた経験がありますか。自営業の家族従事者も働いている(働いていた)ものとします。(SA)

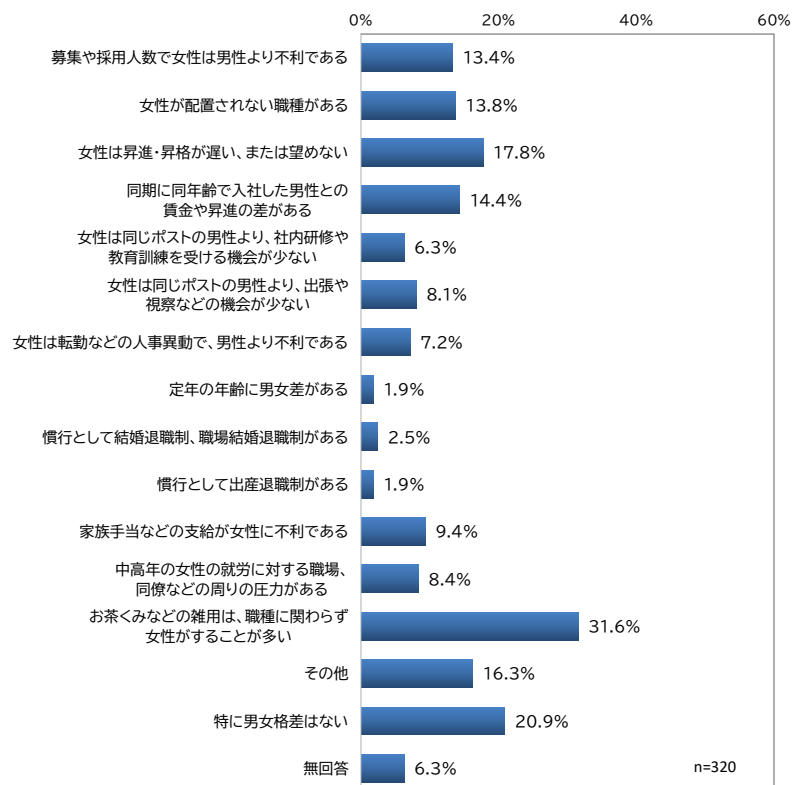
■「現在働いている・過去に働いたことがある」の割合が90.7%、「これまでに働いたことはない」の割合が5.7%となっています。



◆ 職業生活について (つづき)

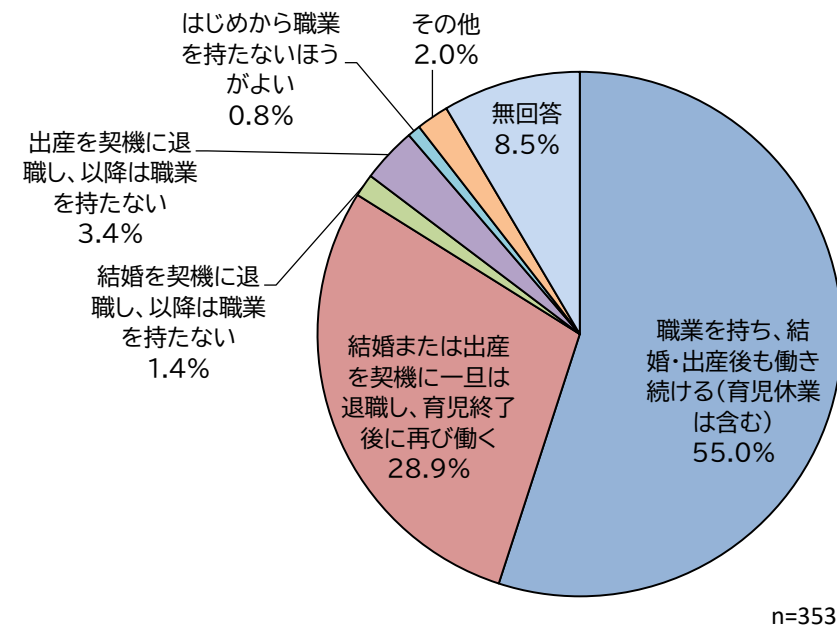
問7 あなたが働いている(働いていた)職場では、どのような男女格差がありますか(ありましたか)。(MA)

■「お茶くみなどの雑用は、職種に関わらず女性がすることが多い」の割合が31.6%、「特に男女格差はない」の割合が20.9%となっています。



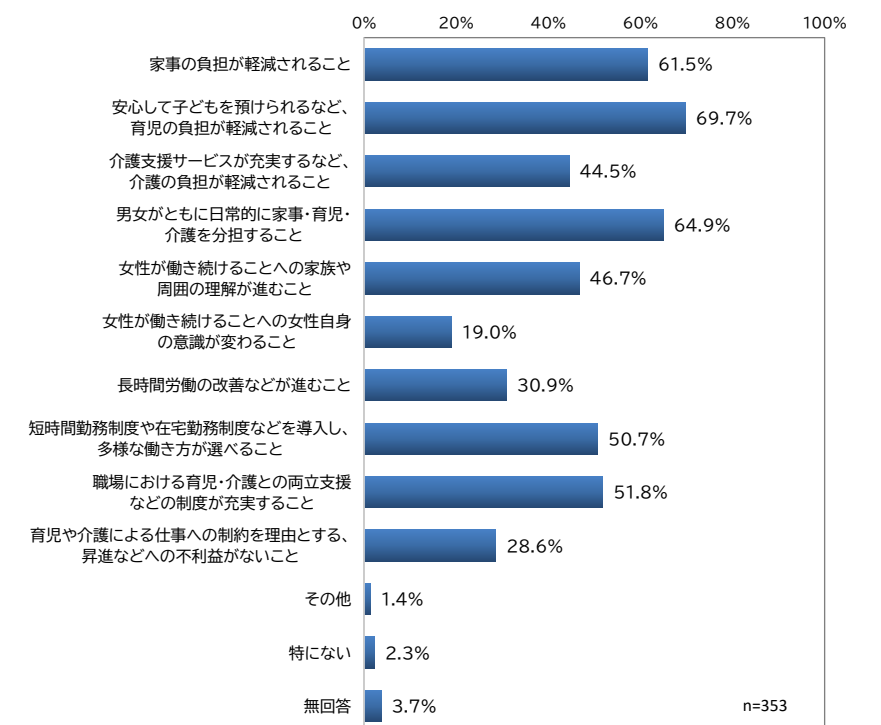
問8 女性が職業を持つことについて、あなたのお考えに最も近いのはどれですか。(SA)

■「職業を持ち、結婚・出産後も働き続ける(育児休業は含む)」の割合が55.0%、「結婚または出産を契機に一旦は退職し、育児終了後に再び働く」の割合が28.9%となっています。



問9 あなたは、女性が仕事を続けていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(MA)

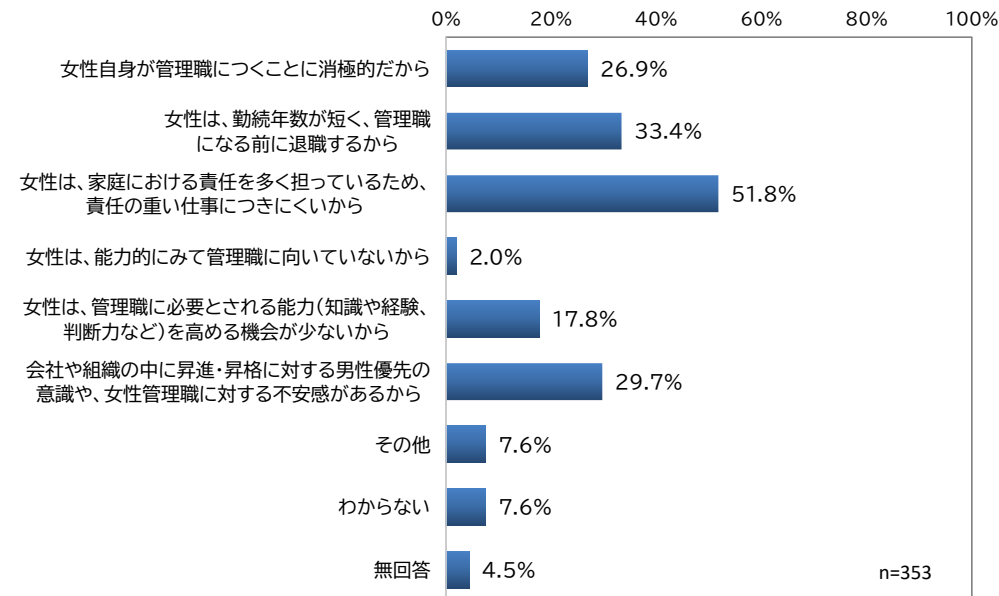
■「安心して子どもを預けられるなど、育児の負担が軽減されること」の割合が69.7%と最も高く、次いで「男女がともに日常的に家事・育児・介護を分担すること」の割合が64.9%、「家事の負担が軽減されること」の割合が61.5%となっています。



◆ 職業生活について (つづき)

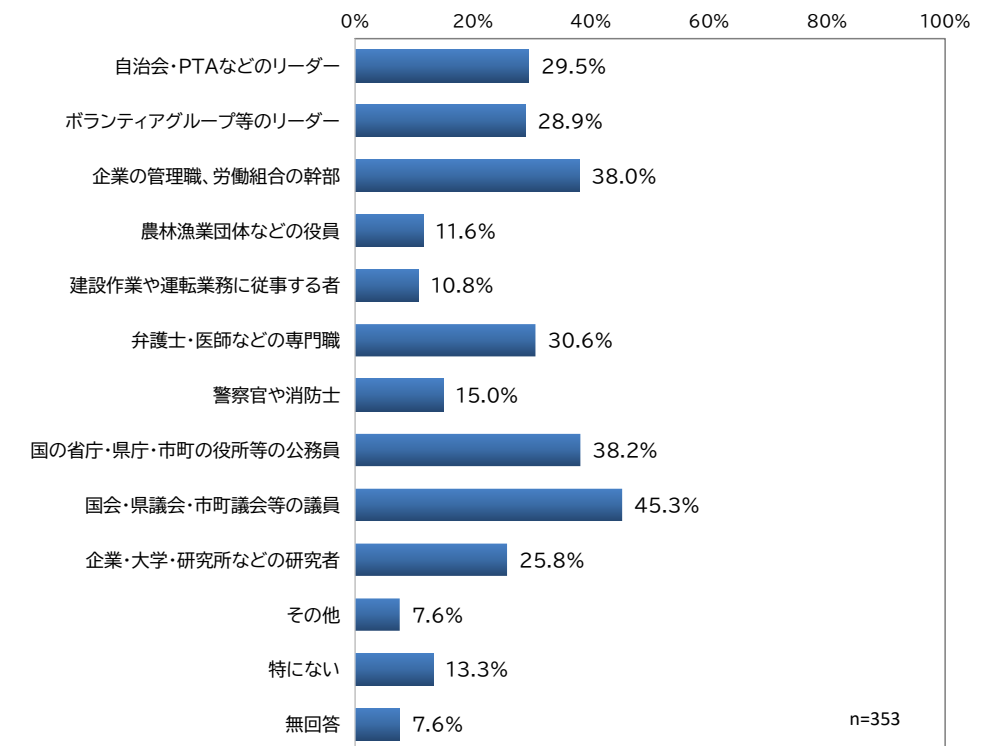
問10 現状では管理職(意思決定を行う管理的部門や指導的地位)につく女性が少ない状況にあります。あなたは理由としてどのようなものがあると思いますか。(MA)

■「女性は、家庭における責任を多く担っているため、責任の重い仕事につきにくいから」の割合が51.8%と最も高く、次いで「女性は、勤続年数が短く、管理職になる前に退職するから」の割合が33.4%、「会社や組織の中に昇進・昇格に対する男性優先の意識や、女性管理職に対する不安感があるから」の割合が29.7%となっています。



問11 あなたは今後どのような分野・立場で、女性の活躍が進むのがよいと思いますか。(MA)

■「国会・県議会・市町議会等の議員」の割合が45.3%、「国の省庁・県庁・市町の役所等の公務員」の割合が38.2%、「企業の管理職、労働組合の幹部」の割合が38.0%となっています。

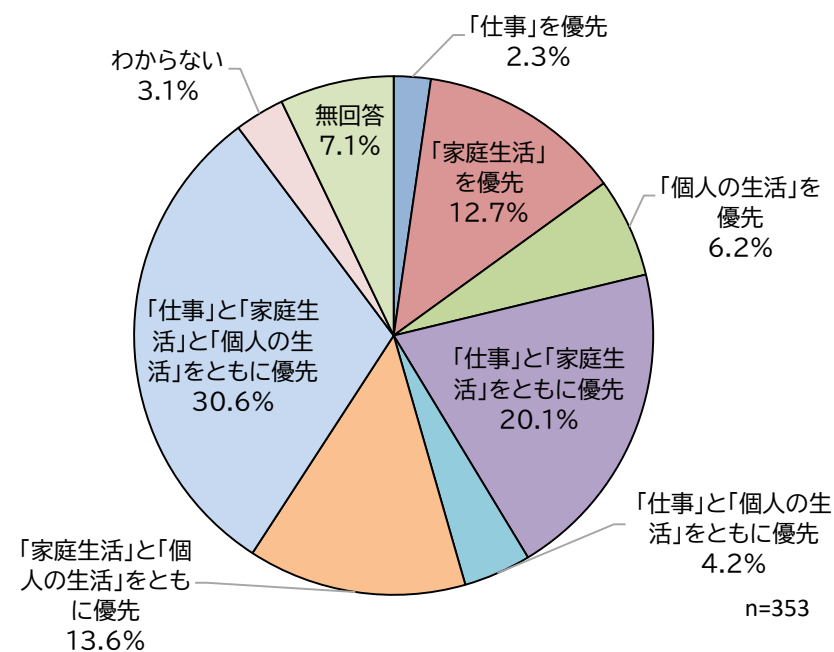


◆ 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)について

問12 あなたは生活の中で、「仕事」「家庭生活」「個人の生活」で何を優先しますか。あなたの「希望」と「現状」に最も近いものをそれぞれお答えください。(SA)

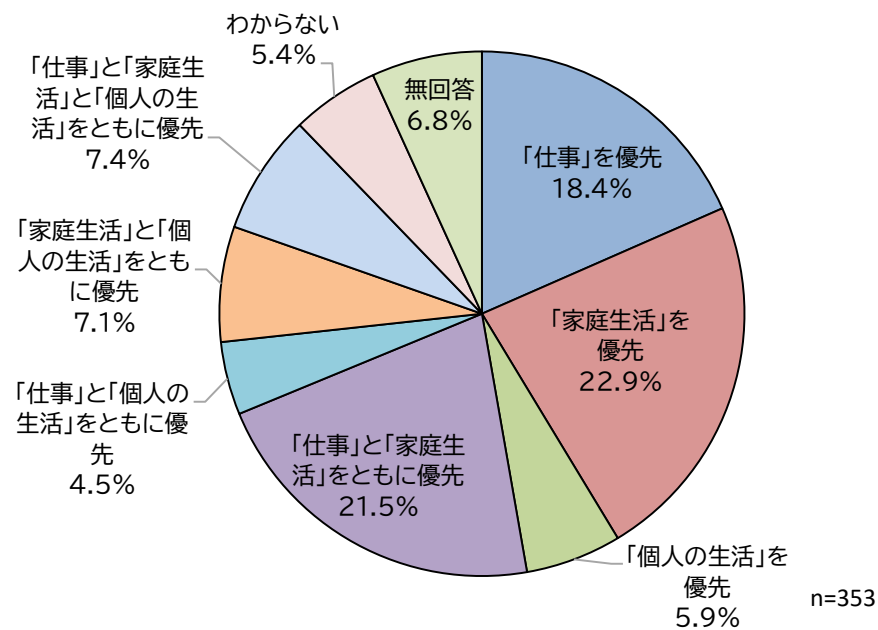
《希望》

■『「仕事」と「家庭生活」と「個人の生活」をともに優先』の割合が30.6%と最も高く、次いで『「仕事」と「家庭生活」をともに優先』の割合が20.1%となっています。



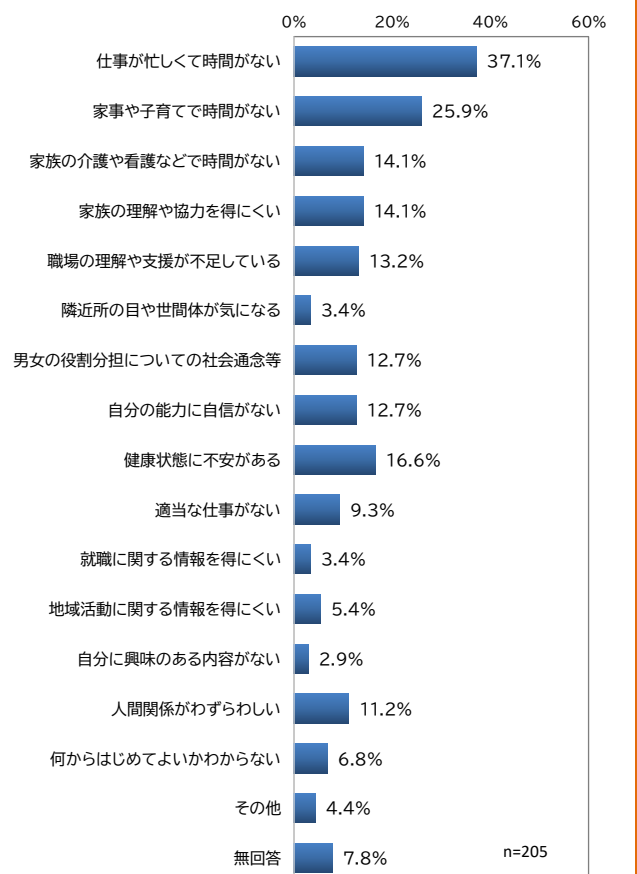
《現状》

■『「家庭生活」を優先』の割合が22.9%と最も高く、次いで『「仕事」と「家庭生活」をともに優先』の割合が21.5%となっています。



問13 「現状」を「希望」に近づけることをさまたげている(ていた)のはどんなことですか。(MA)

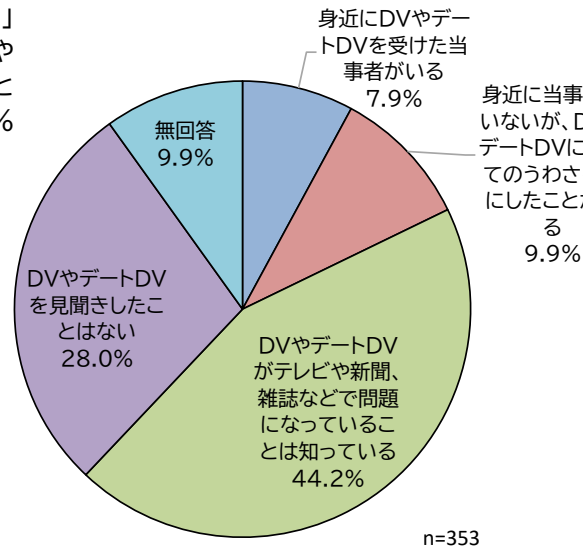
■「仕事が忙しくて時間がない」の割合が37.1%と最も高く、次いで「家事や子育てで時間がない」の割合が25.9%、「健康状態に不安がある」の割合が16.6%となっています。



◆ 配偶者等からの暴力について

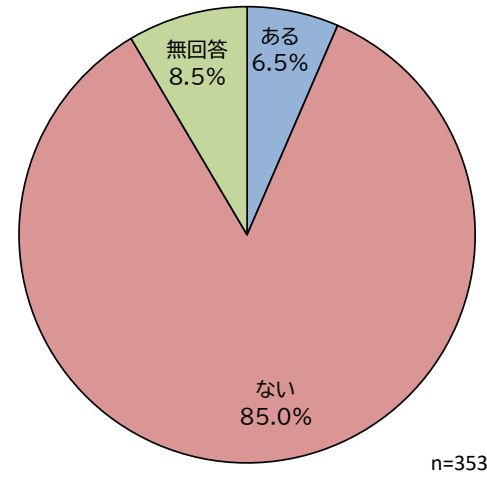
問14 あなたは、ドメスティック・バイオレンス(DV、配偶者・パートナー間での暴力)やデートDV(恋人からの暴力)について身近で見聞きしたことがありますか。(SA)

■「DVやデートDVがテレビや新聞、雑誌などで問題になっていることは知っている」の割合が44.2%、「DVやデートDVを見聞きしたことはない」の割合が28.0%となっています。



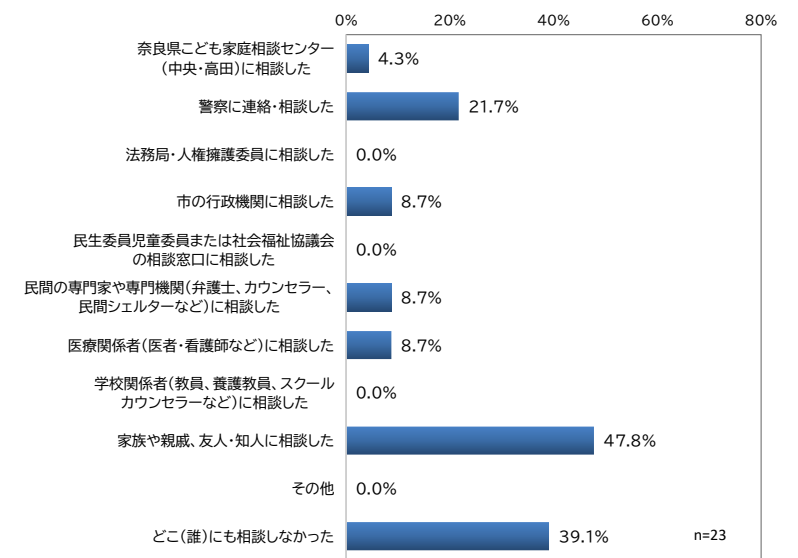
問15 あなたは、配偶者・パートナー、恋人からの暴力を受けたことがありますか。(SA)

■「ない」の割合が85.0%、「ある」の割合が6.5%となっています。



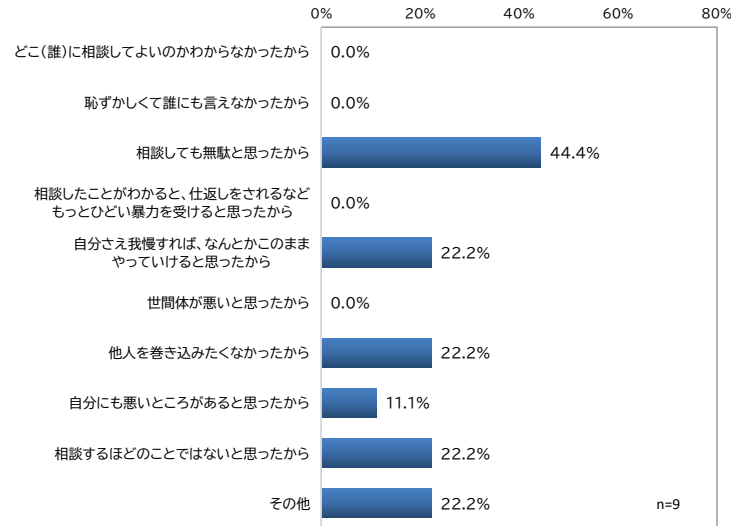
問16 あなたは、これまでに配偶者または交際相手(同様の関係にある方を含みます。)から受けたそのような行為について、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。(MA)

■「家族や親戚、友人・知人に相談した」の割合が47.8%、「どこ(誰)にも相談しなかった」の割合が39.1%、「警察に連絡・相談した」の割合が21.7%となっています。



問17 どこ(誰)にも相談しなかったのは、なぜですか。(MA)

■「相談しても無駄と思ったから」の割合が44.4%となっています。



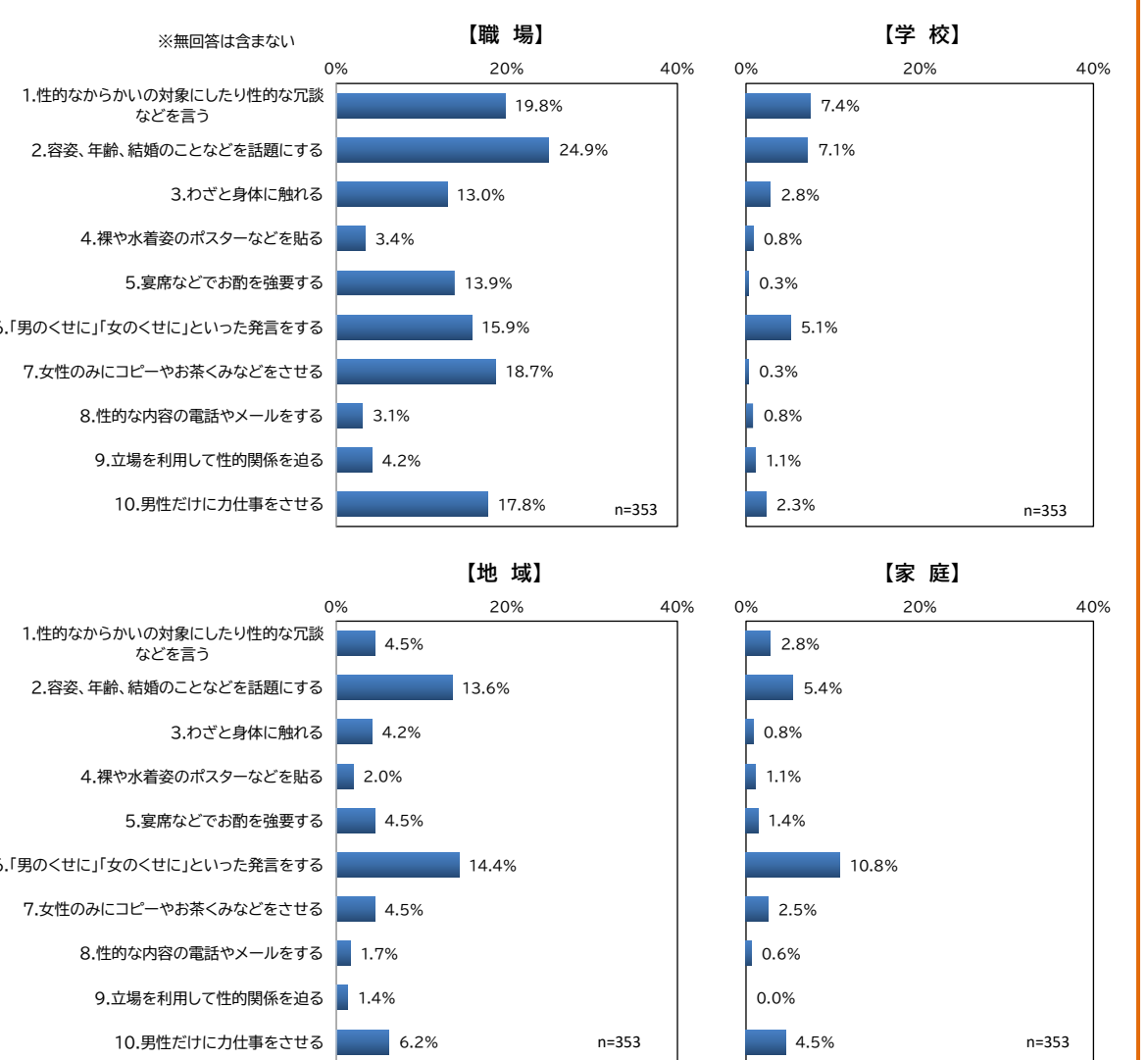
問19 次の1～10の性的いやがらせ(セクシュアル・ハラスメント)について、あなたが経験したのや見聞きしたものはありますか。(MA)

■【職場】では、「2.容姿、年齢、結婚のことなどを話題にする」の割合が24.9%、「1.性的なからかいの対象にしたり性的な冗談などを言う」の割合が19.8%となっています。

■【学校】では、「1.性的なからかいの対象にしたり性的な冗談などを言う」の割合が7.4%、「2.容姿、年齢、結婚のことなどを話題にする」の割合が7.1%となっています。

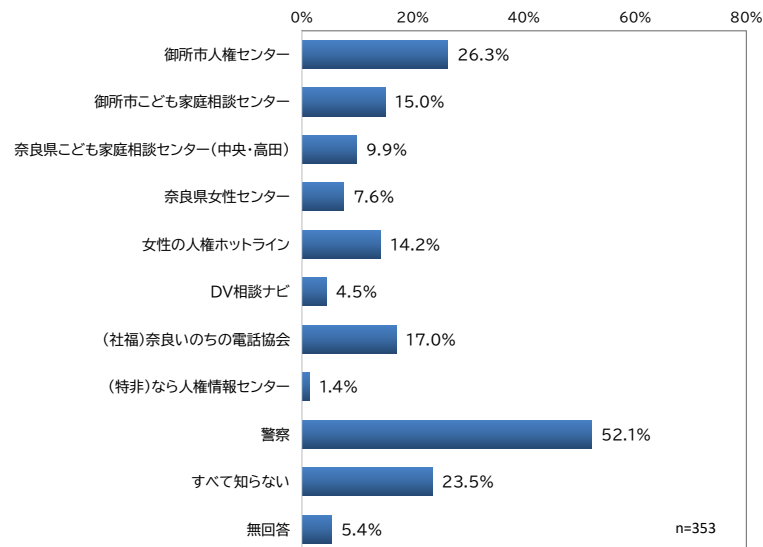
■【地域】では、「6.「男のくせに」「女のくせに」といった発言をする」の割合が14.4%、「2.容姿、年齢、結婚のことなどを話題にする」の割合が13.6%となっています。

■【家庭】では、「6.「男のくせに」「女のくせに」といった発言をする」の割合が10.8%、「2.容姿、年齢、結婚のことなどを話題にする」の割合が5.4%となっています。



問18 あなたは、DV(ドメスティック・バイオレンス)に関して、次の相談場所があることを知っていますか。(MA)

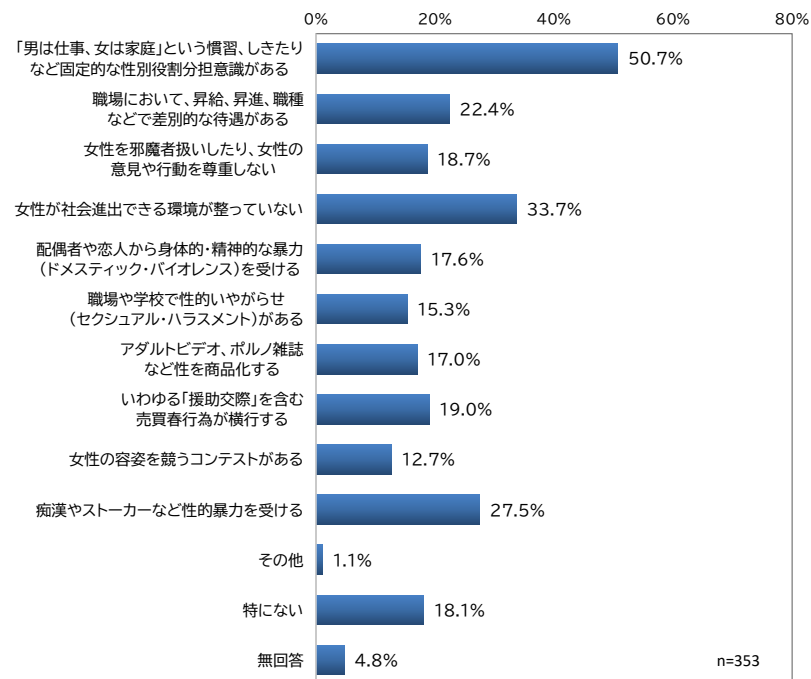
■「警察」の割合が52.1%と最も高く、次いで「御所市人権センター」の割合が26.3%、「すべて知らない」の割合が23.5%となっています。



◆ 男女共同参画社会について

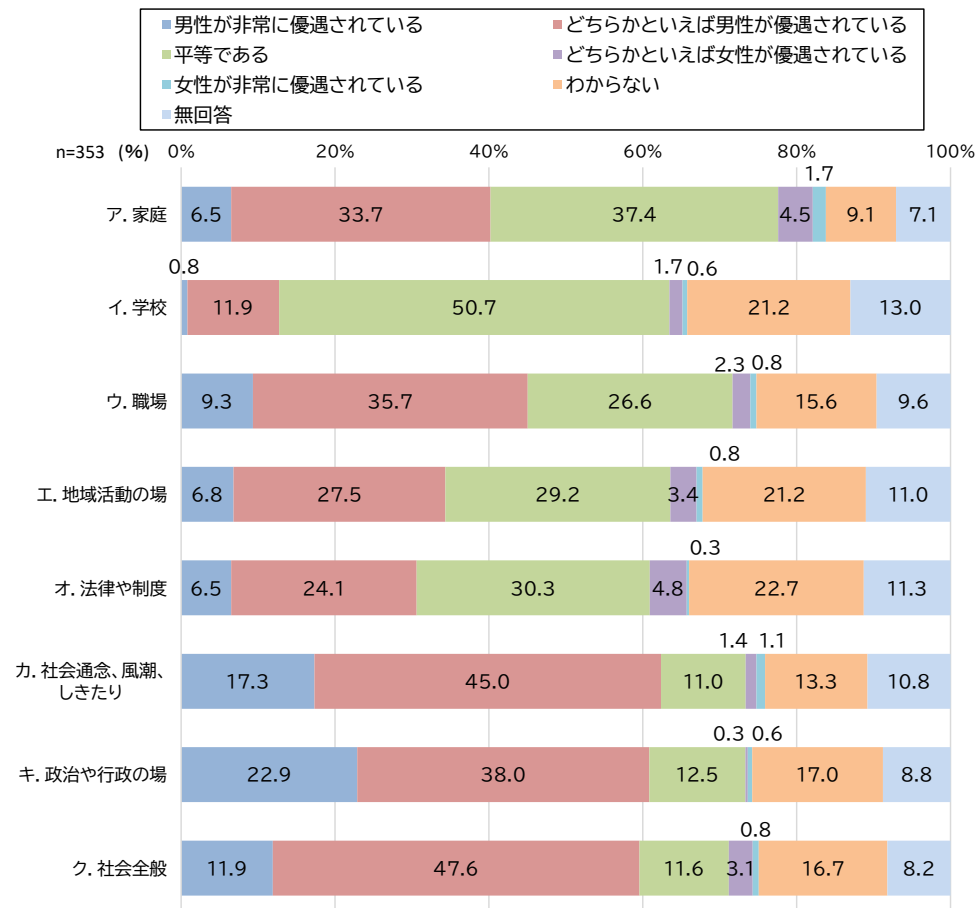
問20 あなたは、女性の人権が大切にされていないと思うのはどのようなことですか。(MA)

■「「男は仕事、女は家庭」という慣習、しきたりなど固定的な性別役割分担意識がある」の割合が50.7%と最も高く、次いで「女性が社会進出できる環境が整っていない」の割合が33.7%、「痴漢やストーカーなど性的暴力を受ける」の割合が27.5%、「職場において、昇給、昇進、職種などで差別的な待遇がある」の割合が22.4%となっています。



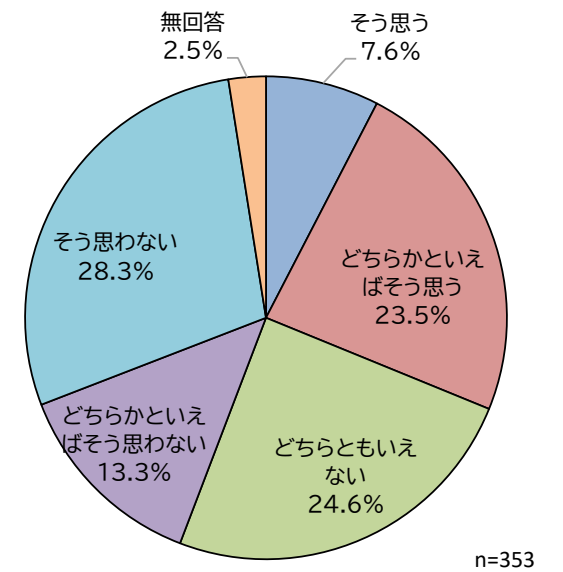
問21 次のア～クの場面において、あなたは、どの程度男女間で平等になっていると思いますか。(SA)

■「男性が非常に優遇されている」、「どちらかといえば男性が優遇されている」を足し合わせると、「カ. 社会通念、風潮、しきたり」、「キ. 政治や行政の場」、「ク. 社会全般」において、6割の方が「男性が優遇されている」と回答しています。



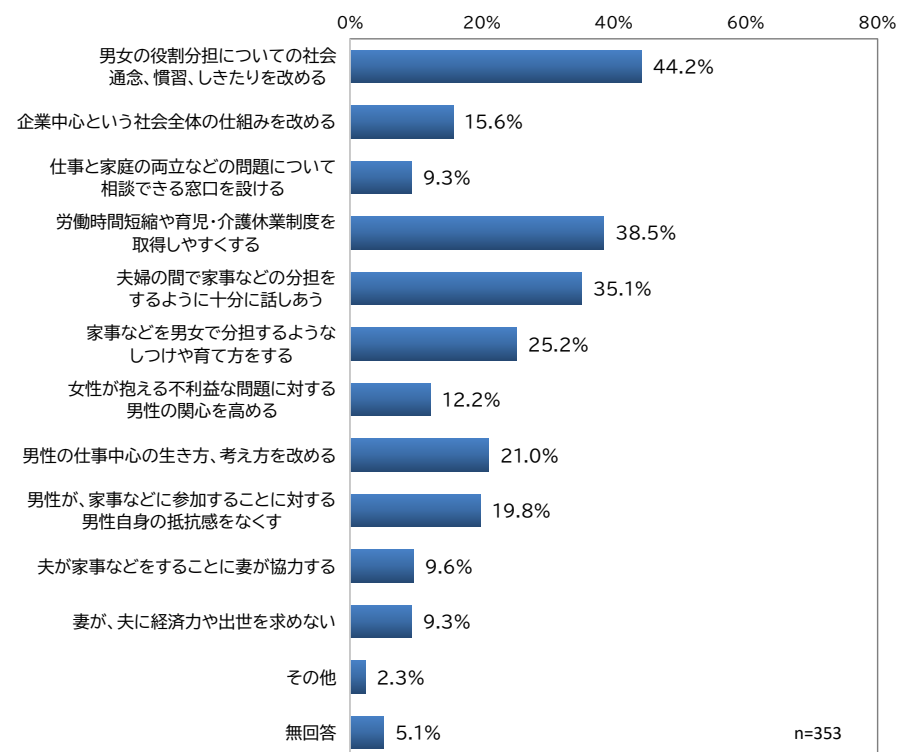
問22 「男は仕事、女は家事・育児」という考え方がありますが、この考え方をあなたはどのように思いますか。(SA)

■「そう思わない」の割合が28.3%、「どちらともいえない」の割合が24.6%、「どちらかといえばそう思う」の割合が23.5%となっています。



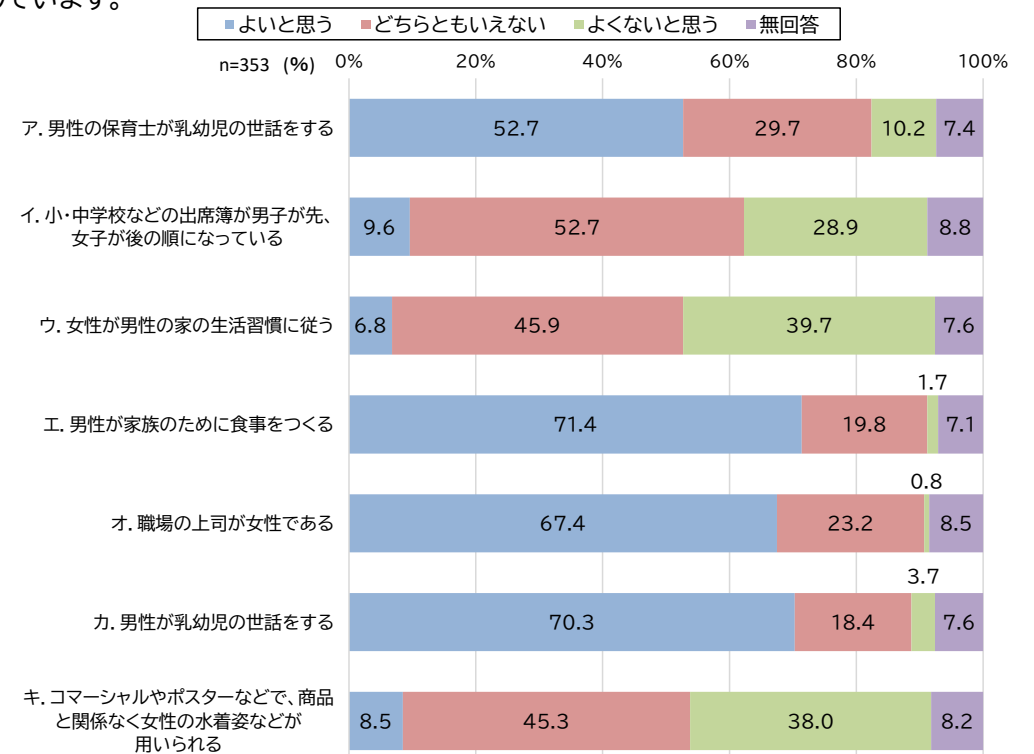
問23 今後、男性が女性とともに家事や子育て、教育、介護、地域活動などに積極的に参加していくためには、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。(MA)

■「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改める」の割合が44.2%と最も高く、次いで「労働時間短縮や育児・介護休業制度を取得しやすくする」の割合が38.5%、「夫婦の間で家事などの分担をするように十分に話しあう」の割合が35.1%となっています。



問24 次のア～キの事柄について、あなたのお考えに最も近いのはどれですか。(SA)

■「エ. 男性が家族のために食事をつくる」、「オ. 職場の上司が女性である」、「カ. 男性が乳幼児の世話をする」では、7割の方が「よいと思う」と回答しています。

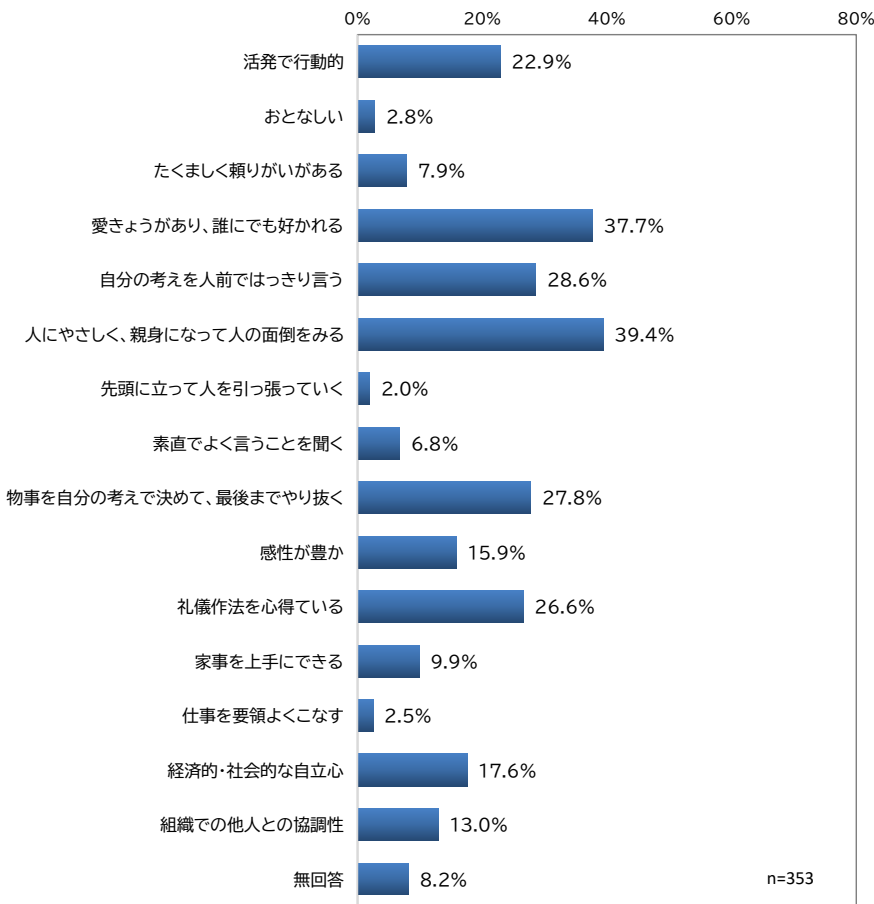


◆ 男女共同参画社会について (つづき)

問25 あなたは、子どもがどのように育ってほしいと思いますか。該当する子どもがいない場合でも、いると仮定してお答えください。(MA)

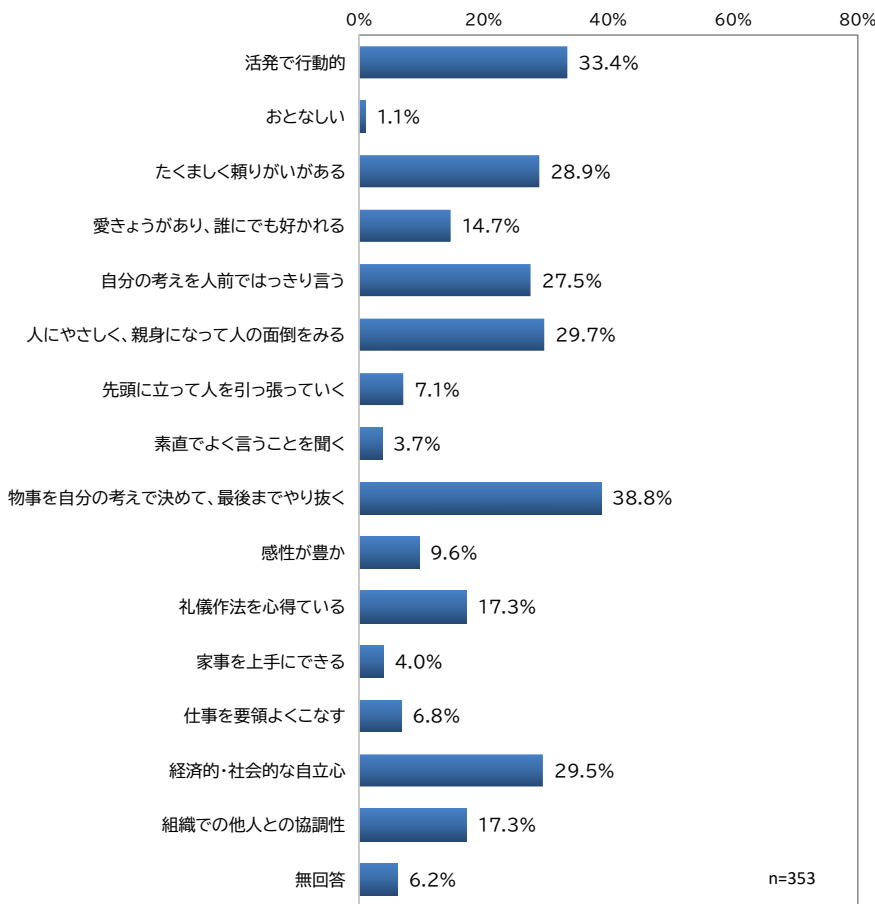
《女の子の場合》

■「人にやさしく、親身になって人の面倒をみる」の割合が39.4%と最も高く、次いで「愛きょうがあり、誰にでも好かれる」の割合が37.7%となっています。



《男の子の場合》

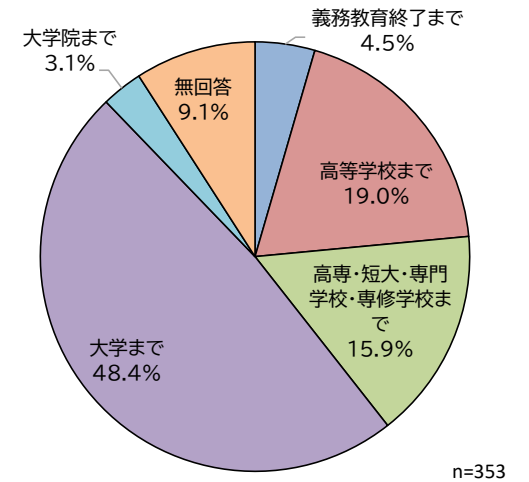
■「物事を自分の考えで決めて、最後までやり抜く」の割合が38.8%と最も高く、次いで「活発で行動的」の割合が33.4%となっています。



問26 あなたは、子どもの学校教育はどこまで必要だと思いますか。該当するお子さんがいない場合でも、いると仮定して両方にお答えください。(SA)

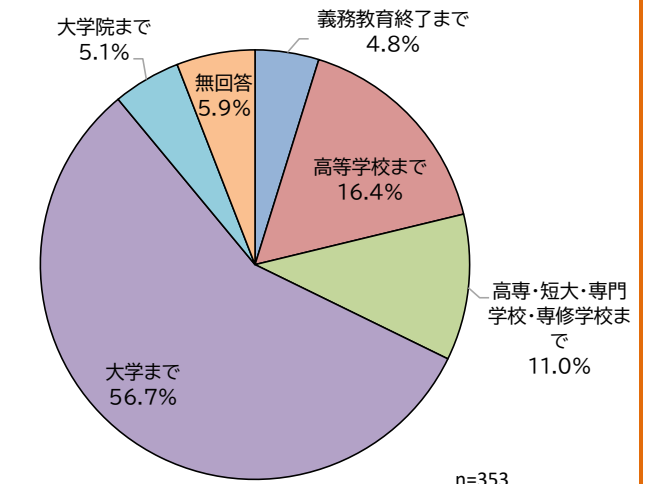
《女の子の場合》

■「大学まで」の割合が48.4%と最も高く、次いで「高等学校まで」の割合が19.0%となっています。



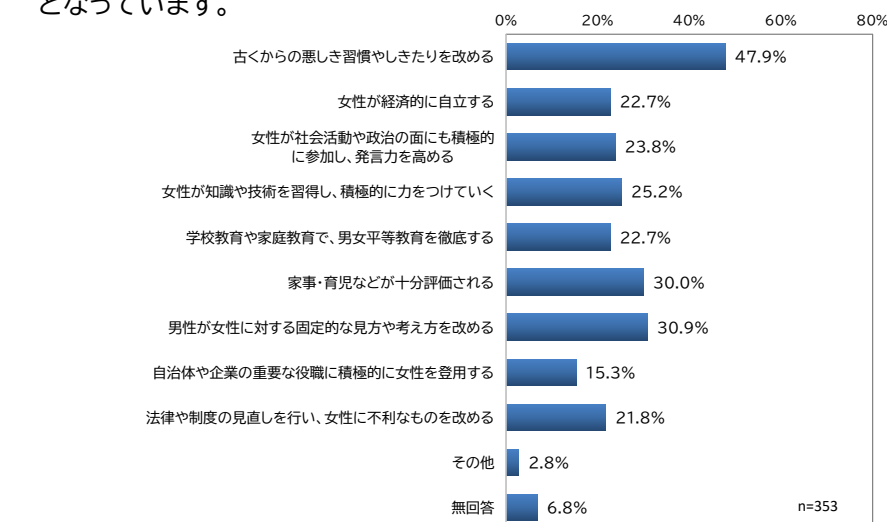
《男の子の場合》

■「大学まで」の割合が56.7%と最も高く、次いで「高等学校まで」の割合が16.4%となっています。



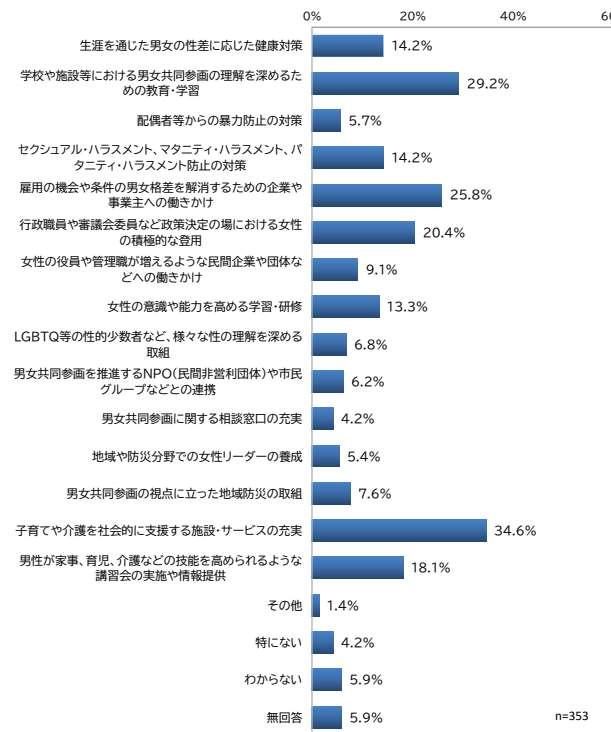
問27 男女平等を進めるために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。(MA)

■「古くからの悪しき習慣やしきたりを改める」の割合が47.9%と最も高く、次いで「男性が女性に対する固定的な見方や考え方を改める」の割合が30.9%、「家事・育児などが十分評価される」の割合が30.0%となっています。



問28 あなたは、「男女共同参画社会」の実現に向けて、御所市は今後どのようなことに力をいれて取り組むべきだと思いますか。(MA)

■「子育てや介護を社会的に支援する施設・サービスの充実」の割合が34.6%と最も高く、次いで「学校や施設等における男女共同参画の理解を深めるための教育・学習」の割合が29.2%となっています。



問29 現在は、結婚すると夫婦は同じ姓を名乗ることになっていますが、別々の姓を名乗るか、同じ姓を名乗るかを選択できるようにすることについて、あなたはどのように思いますか。(SA)

■「自分がするかどうかは別として、別姓と同姓を自由に選べるようにしたほうがよい」の割合が42.5%、「夫婦は同姓であるべきで、別姓には反対である」の割合が22.7%となっています。

